

温室びわ産地における燃油価格高騰に対する取組

安房農業事務所改良普及課 令和4年7月4日発

安房地域のびわ栽培は急傾斜地の露地栽培が中心ですが、平坦地の加温施設栽培も行われています。加温施設栽培により安定生産や収穫・出荷期間の前進等が可能ですが、燃油価格高騰の影響で、経費が増加し、十分な加温ができずに収穫・出荷が遅れる場合があります。

そこで農業事務所では、JA 安房温室びわ組合※と連携し、令和4年1月には暖房コストを抑えるための暖房機のメンテナンス方法等の研修、それ以降は順次、支援事業等の説明会を開催しています。6月30日に開催した説明会では生産者7名が参加し、「事業等を活用し、経営安定につなげたい」、「びわの生育と温度の関係についても勉強会を開催して欲しい」といった感想や要望がありました。

農業事務所では、安房地域のびわ生産振興に向けて引き続き活動していきます。

※JA 安房温室びわ組合は、館山市、南房総市、鋸南町の温室びわ生産者36戸で構成される組織



冬季の栽培管理研修



支援事業の活用に関する説明会